

※みんなで、かわいたアドベ、かた、すな、かわいた土、しめった土（だんご）、板、水入りバケツ、ぞうきん、テキストの紙、シート、つくえをフロアヘセットする。

画面1

## 第1部 タイムマシンに乗って生中継<sup>なまちゅうけい</sup>

<音楽1>

※Aはマイクを持ってひなだんへ。

(A) おはようございまーす！どきどきリマ日校の時間です。わたしは、小学部3年放送局のアナウンサー、Aでーす！今日は、ペルーの家と日本の家についてお送りします。さっそく、日本のむかし、じょう文時代に取材に行っているBアナウンサーに中けいをつなぎましょう！Bさーん！Bさーん！

※Bはマイクを持ってひなだんへ。

(B) はーい。Bでーす！わたしの後ろをごらんください。これが日本のじょう文時代の家です。なんだか、かべがないみたいでしょう？じつはこの家、たてあなじゅうきよって言って、ほんとうにかべがないんです。

(A) ええ？Bさん。かべがないってことは、中の人はずぶれちゃうんじゃないですか？

(B) だいじょうぶ！地面をほって、その上に屋根をかぶせてあるんです。

(A) そうなんですか。ところで、ほかの時代も同じような家だったのですか？

(B) 日本では昔から、木を使って、その土地にあったいろいろな形の家をつくってきたそうです。

(A) よくわかりました。Bさん、気をつけて帰ってきてくださーい！

(B) はーい！

※Bはそでへ。

(A) さて、つぎに、ペルーに行っているDアナウンサーを呼んでみましょう。Dさーん！

※Dはひなだんへ。

画面2

(D) はーい。こちらは、ペルーに来ているDでーす！ぼくの後ろをごらんください。

(A) すばらしい景色ですね。そこはどこですか？

(D) はーい。ここはマチュピチュというところです。ぼくの後ろに見えるのは、ペルーの昔の人が住んでいた家なんです。

(A) そうなんですか。材料は何でできているんですか？

画面3

(D) 石を組み合わせて、とてもじょうぶにできています。

- (A) ペルーでは、全部の家が石でできているんですか？
- (D) セルバの家は床が高く、木でできていました。それに、チチカカこには、トトラという草でできていて、水の上にういている家もありました。
- (A) 水の上に乗っているんですか？おもしろいですね。ありがとうございました。
- (D) はい。
- (A) では、アンデスの山の方に行っているCアナウンサーを呼んでみましょう。Cさん！

**※Dはそでへ。Cは反対のそでからひなだんへ。**

- (C) はい。Cです。わたしはペルーの山の方に来ています。わたしの後ろに見えるのがアドベづくりの家です。
- (A) アドベ？アドベって何ですか？
- (C) はい。アドベって言うのは、日ぼしレンガのことです。どろのレンガを太陽のFでかわかしてつくっています。
- (A) そうなんですか。じゃあ、土でできているんですね？
- (C) そうです。ほかに、キンチャ作りって言って、植物のくきをしんにして、その上にどろをぬった家もあるんですよ。
- (A) そうなんですか。土でできているというのはおもしろいですね。どうもありがとうございました。
- (C) はい。

**※Cはそでへ。**

- (A) ぼくたち、小学部3年生は、リマソルの時間にアドベの家をつくることになりました。そこで、材料や作り方を調べました。アドベってどんなものでしょうね。第2部をお楽しみに！

**※Aはそでへ。**

**画面4**

< 音楽 2 >

**※EとAとCは、ペットボトルと机を持って、ステージへ。その後、Eだけステージに残る。**

**※FとDは、本物のアドベを持って、ステージに出るじゃんび。**

## 第2部 アドベクイズ

(E) 会場のみなさん。これから、ペルーで使われている本物のアドベをお見せします。Fくん、Dくん、持ってきてくださーい!

(FとD) はい。

(F) よいしょ。

(D) こらしょ。

**※本物のアドベを会場に見えるように持つ。**

(E) これがペルーの本物のアドベです。

<音楽3>

**※AとCとBは、クイズカードを一枚ずつ持って、ステージへ**

(E) ここで、会場のみなさんにクイズです! このアドベ一つ分の重さは、このペットボトルでおよそいくつ分の重さがあるでしょう? いち、5本分、に、7本分、さん、13本分。さて、どれでしょう? ちなみに、このペットボトル1本はおよそ1キログラムあります。

(E) いちの5本分だと思われるかたは、拍手をしてください。

**※Aは、クイズカードを持ち上げる。**

(E) ありがとうございます。

(E) にの7本分だと思われるかたは、拍手をしてください。

**※Cは、クイズカードを持ち上げる。**

(E) ありがとうございます。

(E) さんの13本分だと思われるかたは、拍手をしてください。

**※Bは、クイズカードを持ち上げる。**

(E) ありがとうございます。

(E) 正解は・・・

(FとD) さんの13本分です!

**※Bは、クイズカードを持ち上げる。**

(E) 正解された方々、おめでとうございまーす!

(F) ぼくたちは、このアドベでは大きすぎて重いので、もっと小さいのを作ることにしました。

(D) くわしくは、つぎのコーナーをごらんください。

(E) その名も、

(みんな) おいしいアドベのつくりかたー!

画面5

<音楽4>

**※DとCとBは、フロアに行く。ほかの3人はかたづける。**

### 第3部 おいしいアドベの作り方！？

(D) リマ日本人学校のみなさん、こんにちは。今日の料理の時間です。今日は、ペルーの日干しレンガ、アドベの作り方を教えていただきます。教えていただく先生はこの方々です！

(CとB) こんにちは。よろしくおねがいします。

(D) よろしくおねがいします。

(D) 先生、今日はアドベの作り方を教えていただくわけですが、こちらのアドベですね。ずいぶんかたいですねえ。

(C) はい。よくねることで、石みたいにかたくなるんですよ。

(B) 手でもってわろうとしても、足でふんでもわれませんよ。

(D) ほんとうにそんなにかたいのですか？

(B) たしかめましょうか。はかせー！

**※EとFはアドベを持ってフロアへ。**

(EとFとA) はい！

<音楽5>

(F) わしがどれくらいかたいか、調べてやってもいいよ！おい、おまえたち！

(EとA) はい！では、調べます！

**※アドベをこつこつぶつけてから、EがまちがってFの頭にアドベをぶつけてしまったまねをする。**

(E) ゴーン！

**※Fは、うなってたおれる。AとEは、Fをひきずってさっていく。DとCとBはあきれた顔をする。**

(D) ほんとうに、かたいんですね。じゃあ、さっそく作り方を教えてください。

(C) はい。まずはじめに、かたを用意します。

(B) これがかたです。かたからアドベをぬくときに、手で持つところをつきました。

**※BはDにかたをわたす。**

(D) よくできていますね。あれっ。このかた、底がないですよ。

(C) はい。かたからぬくときに、おしだしやすいように、底の板はとお りぬけるようになっています。

(D) これは、どこで売っているのですか？

(B) 売ってはいません。自分でつかうアドベの大きさを考えて作りましょう。

(D) わかりました。

**※Dは、かたをつくえにおく。**

(D)次にどうするのですか。

(C)はい。つぎに、土を用意します。

**※Bは、土を会場に見せるように持つ。**

(B)地面をほっただけでは石がまじっているので、ふるいにかけて石をとりのぞきます。

(D)わかりました。これがその土ですね。

**※Dは、土を少し持ち上げて、さらさらと落とす。**

(D)なるほど、さらさらしていますね。

(C)つぎに、水をくわえます。

(B)どろだんごができるくらいのかたさまでくわえましょう。

(C)そして、できたのがこちらです。

**※Cは、しめった土を会場に見えるように持つ。**

**※Dはしめった土を少しもって会場の方に見せる。**

(D)なるほど。さっきのさらさらした土とはずいぶんちがって、ああ、ほんとは。ねばりけがある土ですね。これをかたにつめるのですか？

(B)まだです。このままかたにつめると、ぬけなくなってしまいます。

**※Cは会場に見えるように水でぬらす。**

(B)こうして、かたを水でぬらします。

(D)なるほど。ああ、全部ぬれましたね。これでオッケーですね。

(B)まだです。かたの内がわに砂をつけます。

**※Cは、会場に見えるようにすなをつける。**

(D)なぜ、砂をつけるのですか。

(B)砂をつけるともっとぬけやすくなるのです。

(C)はい、これで、じゅんぴオーケーです。

(D)これで、やっと、かたにつめてもいいのですね？

(B)そうです。でも、ただつめるだけではいいアドベはできません。

(C)このように、よくねっただんごをつくってから、おしつぶすようにかたにつめます。

**※Bもつめる。**

(D)もし、ねらないでつめたらどうなりますか。

(C)すぐにかけてしまったり、割れてしまったりします。

**※Dもつめる。**

(D)それはこまりますね。ほうほう。これは力がいらいますね。

(D)ああ、でも、きもちーですね。

**※三人ですりきりいっばいまでつめる。**

(C)さあ、すりきりいっばいまで、つめおわりました。

※**Cは手のひらでたたく。**

(B) さいごに、手のひらでたたくと平らでじょうぶになります。

(D) ほんとうだ。きれいにたいらになりましたね。

※**Dは会場に見えるように持つ。**

(C) では、いよいよかたからぬきましょう。

※**Cはかたからぬくさぎょうをする。**

(B) このように、さかさまにして、ちょっと持ち上げながら、底の板をおすと・・・。

(D) おー！ぬけたー！会場のみなさん、ほーら、できましたー！

※**Dは、ぬけたアドベを会場に見えるように持つ。**

(C) これを日当たりにおいて、かわかします。

(D) さあ。会場のみなさんも、今夜はぜひアドベをつくってみてくださいね。

※**Dはテキストを会場に見せる。**

(D) くわしくは、テキストにもものっていますので、どうぞさんこうになさってください。

(D) 先生、今日はほんとうにありがとうございました。

(CとB) どういたしまして。

< 音楽 6 >

画面 6

※**みんなで、全部かたづける。**

※**かたづけたら、Cはぼう、Bはホースをもって、みんなひなだんへ。**

## 第4部 アドベの家をつくっています！

(E) ぼくたちは、作ったアドベで家をたてています。

(A) アドベを組み立てる前に、きそをつくりました。

(F) きそは、アドベを組み立てる土台です。

画面7

(C) 家の四つの角に、まっすぐにぼうを立てました。まっすぐをはかるために、おもりをひもでつるしました。

※Cはぼうを会場に見えるようにもつ。

(D) このように、つるしたおもりはいつもまっすぐに下に向くことをつかいました。

※Dは、会場に分かるように指さす。

画面8

(B) つぎに、土台が同じ高さになるようにしました。同じ高さをはかるために、このとうめいのホースに水を入れました。ホースの中の水面は、いつも同じ高さになることを使いました。

※Bは、ホースを会場に見えるようにもつ。

(E) アドベをつむときは、モルタルをぬってくっつけます。

画面9

(A) モルタルは、土にどろどろになるくらい水を入れてつくったセメントのようなものです。

画面10

(F) 四つの角に立てたぼうにむすんだ糸に合わせて、まっすぐにならべます。

(みんな) 一段目。

画面11

(C) 一段つむのに52個使いました。

(D) 次の段をつむときは、たがいちがいになるようにつみました。

画面12

(B) あとでやねをつくるための材木は、学校で使わなくなったはいざいを使うことにしました。

(みんな) 六段目。

画面13

(E) だんだん高くなってきました。

(A) 土をとるために、ゆかのところをほっていたら、だんだん深くなってきました。

(F) そこで、入り口にかいだんをつくりました。

(みんな) 八段目。

画面14

(C) ここまでに、一ヶ月かかりました。

(みんな) 十段目。

画面15

(D) まどのところに、木の板をはさんで、上をとじました。

(みんな) 十二段目。

画面16

(B) 入り口の所も、木の板をはさんで、上をとじました。

(E) じょうぶになるように、向かい合ったかべにぼうをつけました。

(A)そして、さいごの！

(みんな)十三段目、かんせーい！

**画面 17**

**※みんな右手をあげて元気よく言う。**

**<音楽 7>**

(F)つむのが終わったときは、みんな大よろこびでした。

(C)これから、うわぬりをして、きれいに、じょうぶに仕上げます。

(D)さいごまで、みんなで力をあわせて完成させたいです。

**画面 18**

(B)運動場のすみの方でつくっていますので、ぜひ見てください。これで、  
小学部3年生の発表を終わります。気をつけ。れい。

(みんな)ありがとうございました！

# 小学部3年 文化祭シナリオ



氏名 ( )

## 画面

- 1 小学部3年生 ペルーの家と日本の家 第1部 タイムマシンに乗って生中継
- 2 マチュピチュ全景
- 3 マチュピチュの家
- 4 第2部 アドベクイズ
- 5 第3部 おいしい!?アドベの作り方
- 6 第4部 アドベの家をつくっています!
- 7 ぼうを立てる
- 8 ホースで水平をとる
- 9 モルタルづくり
- 10 並べている
- 11 一段目
- 12 廃材取り
- 13 六段目
- 14 八段目
- 15 十段目
- 16 十二段目
- 17 十三段目
- 18 完成までがんばります